

工業部会通信

相模原商工会議所 工業部会発行

編集 かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL: 042 (851) 2021
プリントしてご自由にお読み下さい。

かながわ経済新聞 KANAKAI

市内建設業の活性化も

地元産業界から期待の声

相模原市が4月から大幅改正して施行する産業集積促進策「ステップ50」に対して、地元産業界の期待が高まっている。なかでも地元建設業者に発注した場合、発注者に工事契約額の3%を助成する施策への注目度も高く、工業だけでなく地元建設業界の活性化も見込まれる。

（かながわ経済新聞）

どの建設にともない、市内業者が発注した場合、発注者に対して工事請負契約額の3%を奨励金として交付する。

市経済部によると、これまで支援を厚くした産業集積策は全国的にも珍しいとしている。周辺の自治体の商工振興課も「相模原がここまで支援策を打ち出した以上、当市としても今後の産業支援をどうするかを議論する起爆剤になっている」と話している。

工業部会の関心も高い。松岡康彦・湘南デザインCEOは、「企業誘致にもつながるだけでなく、製造業の市外流出も防げる」と述べた。その

新・ステップ50は、航空宇宙やロボット、精密機械などを「リーディング産業」と位置付け、これらの産業に位置する市内外の企業が、市内に工場や本社を建設した場合、最大10億円の奨励金を交付する内容。

地元建設業の支援策も拡充させたのも特徴だ。具体的には、新工場な



産業活性化につながるか（資料写真）

動物医療の市場開拓

放射線治療器具を製作

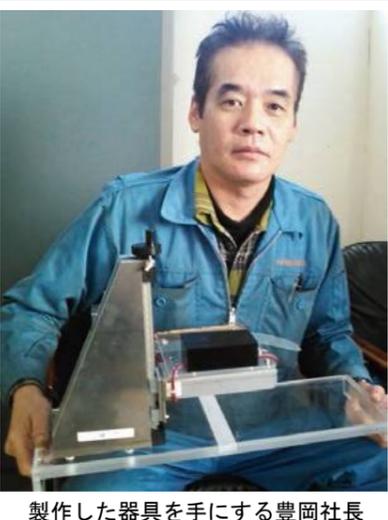
工業部会GETプロジェクトエクト副委員長を務めるユタカ精工（豊岡淳社長）は、相模原市内にキャンパスを持つ麻布大学獣医学部などと共同で、犬猫を対象とした放射線治療器具を製作した。

ペットの頭頸部に発生した悪性腫瘍の放射線治療時に使う固定台だ。麻布大学の園尾拓也助教のアイデアを、モノづくり

企業のユタカ精工が「形にした。今後は同分野での販路開拓を狙っている。

犬や猫などのペットは、給餌の改善やフィラリア予防の普及などで、長寿命化が進んでいる。それに伴い、悪性腫瘍に対するニーズも高まっており、麻布大学付属動物病院でも、人間の治療に使うものと同じ放射線治療装置を導入している。ただ、動物医療の現場では、治療時やCT撮影時にペットの頭の高さに応じて固定できる台がこれまでなかったという。そこで園尾助教が「三点支持法」のアイデアを考案。ペットの上下の歯を、独自構造で固定しながら、位置を決められる方法という。

今回、ユタカ精工は、



製作した器具を手にする豊岡社長

そのアイデアをベースに設計。アクリル樹脂などを使って加工し、固定台を製作した。

将来は製品化も視野に入れる。豊岡淳社長は「これからは動物医療は進化します。それに伴い、機

上で「大企業の本社誘致も期待したい」とコメントした。

建設業界の注目度も高い。谷津弘・谷津建設社長は「（地元建設業にとって）非常によい機会に限りなく歓迎したい。さらに「大規模な工事が大手企業に持つていかれないような仕組みも必要にならなければならない。例えば、JVの場合は地元企業への参加を義務づけるようにして頂きたい」とも求めている。

学生の作品製作支援

「アイデアをカタチに」

美大生のアイデアを町工場がカタチにします

工業部会会員の諸隈製作所（相模原市緑区西橋本）は、美大生や若手デザイナーなどが描いた作品を、最新鋭レーザー溶接システムなどを駆使して制作する新サービスを始めた。

同社は厚さわずか0.1ミリのステンレス素材をきれいに溶接できる技術を持つ企業。県内でも保有する企業は少ない「YAGレーザー溶接機」なども導入している。

「金属加工のプロ」の技術を必要とする作品の制作をサポートする。「学生たちにとって、町工場が少しでも身近になってほしい」と願い始めました」と諸隈武社長。

「学生価格」の1万円から受注を受け付ける。相模原の周辺地域には、美術大学や芸術系学部がある大学が複数立地している。

昨年末、同社に美大生が「卒業制作の作品で使う金属の加工をし

「曲線が多用されているデザイン作品は加工も難しい。それでも、自分たちの技術向上にもつながるはず」（諸隈社長）とし、依頼を引き受けたという。

今回、同社では受注メニューに美大生向けの作品制作支援を追加。スケッチや図面、寸法を渡すだけで「あとは、こちらで何とかする」（同）。

電話やメールで進捗を確認できるほか、作業の立ち会いも可能だ。

（かながわ経済新聞）

「もの補助」申請始まる

5月8日締め切り

2014年度補正予算として中小企業から注目されている政府の「ものづくり・商業・サービス革新補助金（もの補助）」の一次公募の申請が県内でも始まった。これに合わせ、県内各地域では、

産業支援機関などによる説明会が開催されている。「もの補助」は中小企業の試作開発などを支援する政府の補助金。今回の締め切りは5月8日。設備投資にかかる補助率は3分の2で上限1千万円。

これまで実施されたなかで、県内企業の採択率は3〜4割とされる。今回は「革新的サービス」の創出も全面的に対象となっており、商業やサービス業からの申請も見込んでいる。

「学生たちにとって町工場を少しでも身近にしたい」と諸隈社長

＝緑区西橋本の同社

あなたと、暮らしと、つながって。
Always, With your life.

しあわせや暮らしのカタチは、人それぞれだから。
小田急不動産は、お客さまと一緒に描いていきます。

不動産のご売却・ご購入・有効活用は
お近くの小田急不動産へお気軽にご相談ください。

町田店 〒194-0021 町田市中町1-1-15 マリービル
0120-091-391

営業時間/10:00~18:30 定休日/水曜日 第1・3火曜日
Tel: 042-722-5811 Fax: 042-726-3917
E-mail: machida@odakyu-fudosan.co.jp

相模大野店 〒252-0303 相模原市南区相模大野3-8-1 相模原大野駅前ビル1F
0120-097-095

営業時間/10:00~20:00 定休日/水曜日
Tel: 042-766-0909 Fax: 042-766-0990
E-mail: sagamiono@odakyu-fudosan.co.jp

小田急不動産は、おかげさまで50周年を迎えました。 SINCE 1964

小田急の仲介 odakyu REAL ESTATE

国土交通大臣免許(13)第1168号・(一社)不動産協会会員
（一社）不動産流通経営協会会員・（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-4-17 小田急西新宿ビル